






令和元年度 学校版環境 I S Oへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
天草	上天草市	上天草市立姫戸中学校

1 取組の概要

項目	活動の様子 (写真)	取組の実際
宣言		<p>昨年度の取組を見直し、生徒・教師の環境への意識を高めるために、当たり前に行えることを宣言項目にした。環境委員会で検討した後、生徒集会で取組の詳細について説明し、「環境 ISO 宣言項目」を全教室に掲示した。視覚化することで意識を高める。</p>
行動	<p>1 節電・節水</p> <p>2 排出ゴミ</p> <p>3 環境保全 (1)海の日ボランティア</p> <p>3 環境保全 (2)環境講座①</p>	<p>1 節電・節水</p> <ul style="list-style-type: none"> 全員が歯ブラシ、歯磨き剤、コップを持参し学級に一まとめに保管し、給食後の歯磨き時は必ずコップを使用する。 コップ 1 杯の水で歯磨きをする。 手洗いは、石けんを流すとき以外は水を止める。 清掃時はバケツを使用し、水の出しっ放しをしないよう掃除指導をする。 トイレや使用した教室などの電気は最後の人が責任をもって消す。 <p>2 排出ゴミ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教室では不燃ゴミはほとんど出ないので、可燃ゴミ用のゴミ箱のみを設置している。理科室には危険物入れを設置している。(もし不燃ゴミが出たときは家に持ち帰る。) 生徒が個人的に出すゴミは基本的に家に持ち帰らせる。 缶、ペットボトル、燃やせないゴミは職員室で分別を徹底する。 プリント紙の資源化を図り、裏面利用できるものはサイズ毎にまとめ、再利用する。両面使用後は、資源ゴミとして出す。 紙マスクは必ず家に持ち帰り、学校では捨てない。 各学級のゴミは、環境委員会が月末に回収をしている。ゴミがたまったときは、委員に頼らず、掃除当番が掃除の最後にゴミ収集場に持っていく。 特別棟のゴミは、掃除当番が回収し、ゴミ収集場に持っていく。 <p>3 環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃活動の充実を図る。清掃場所ごとの「掃除のしかた」マニュアルを作成し、掲示している。 掃除開始の挨拶、無言清掃、終了後の反省会を必ず行い、生徒が自ら課題を見つけ、清掃活動に取り組めるようにしている。清掃活動は、教師と生徒が協働で行う。 SBP (スクールビューティプロジェクト) 活動では、教師

	<p>3 環境保全 (2)環境講座②</p>  	<p>と生徒の協働による草取りや窓拭きなどを行い、環境づくりに努めている。(月2回、水曜日の朝実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の日ボランティアでは、姫戸町の海水浴場(小島・諏訪)の清掃活動を行い、校外の環境保全にも努めている。 ・夏休み期間中は、生徒が交代で当番に当たり、校舎内外の美化に努める。 ・環境についての講座を開き、生徒の環境への関心・意識を高める。 ・地域人材活用により、環境保全に携わっている方の話を聞くことで、環境だけでなく、地元の良さに気づかせる。 
<p>記録</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に「環境 ISO チェックシート」を作成し、5つの項目について「○・×」で自己評価を行った。 ① 歯磨き・手洗いの時はこまめに水を止めることができた。 ② 教室・トイレを出る時、最後の人は電気を消すことができた。 ③ 紙マスクは持ち帰り、学校のゴミを減らすことができた。 ④ 給食を残さず食べ、残食をなくすことができた。 ⑤ 掃除の開始・終了時刻を守り、無言掃除ができた。
<p>見直し</p>		<p>環境 ISO の振り返りをし、できていないところの改善を図った。</p> <p>環境委員が他生徒への声かけをしたことで、環境への意識が高まった。</p>

2 成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・環境 ISO チェックシートの集計結果から、どの学年も概ねできていた。 ・自己評価項目を生徒が取り組みやすい項目に設定したことで、自分の取組を分かりやすく評価できた。各自の取組の振り返りが明確であった。 ・風邪対策で紙マスクを使用した場合、不用な時は必ず家に持ち帰るようにしたことでゴミが減少した。 ・節電の意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水は概ねできているが、トイレ前の水道の蛇口が開いていることが数回あった。使用後の見届けを生徒自身ができるようにする。 ・布マスクの徹底が不十分である。衛生面では紙マスクの方がいいのではと思われたので、生徒会で話し合い、紙マスクでもよいこととした。布マスクも毎日洗って清潔に使うよう指導する。 ・落ちているゴミがないように、今後更に意識を高めさせる。 ・学習環境を整える。

